企業・団体名(めいくさん農園)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30変更】

									主	⊋SDG	s (17	ゴー	ルと16	i9ター	デット	·)関i	車項目			\neg
カテ	- 575	取組	【非缺当】	【予定】の	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8 9	10	11	12	13 1	4 15	16	17
ΞÚ	チェック項目	レベル	の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	(果などの取得限証があれば、併せて記載) (【非談当】を選択した場合はこちらに理由記載)	105 \$464	2 tm	2	MI Tilbuu	ē.	Ÿ		**************************************	Karr (B)	ALL:	8	0	<u>•••</u>	X	*
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、 差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を厳禁し、全 ての従業員に周知徹底しています。	1				5.1 5.2 5.5		8	8.5 8.7 8.8	10.2					16.1 16.2 16.7	
2	[ハラスメント禁止] ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを厳禁とする旨を採用時に必ず伝えています。また1対1でのヒアリングの機会を設けています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間労働是正のため、作業効率の改善や圃場ごとに作業する時期をずらし、作業時期を分散させるようにしています。								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人労働者に対する差別、人権侵害等の厳禁を採用時に 伝え、周知徹底しております。	=			4.4				8.7 8.8	10.2 10.3						
⁵ 人 権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			作業環境や設備を定期的に点検し、安全に作業ができるか 確認、改善をしています。			3					8							
· 労 6 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			柔軟な労働時間や休暇の取得など、従業員がメンタルヘルスの状態に合わせて柔軟に働ける環境を整備しています。	z.		3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に 取り組んでいる	基本			様々なパックグラウンドや経験を持つ人材の積極的な採用を 行います。採用プロセスにおいて、性別や国籍に基づく差別を 排除し、公平かつ平等な機会を提供します。	Ē				5.1 5.5		-	8.5	10.2 10.3						
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			本人の希望や役割に応じた研修体系を整備し実施しています。				4	5.5			8 9	1						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備し対応して います。					5.5		,	8.5	10.2 10.3						
0	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			定期的な健康診断の実施を促し、従業員の健康状態を把握 しています。			3					8							
1	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			発生した廃棄物を適切に処理し、リサイクルが難しいものは安全な方法で処分しています。	3									11.6	12.4	14	1.1		
2 環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	自社の温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を実施していきます。						1	7.3					13			
境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		【予定】	自社の温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を実施していきます。							7.2 7.3				12.4	13.3			
4	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組 んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のため利用しないように努めています。	ij		3.9			6.3				11.6	12.4				

			Fill the start	[予定]の	具体的な取組											連項日		
カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非験当】 の場合 選択入力	場合	(暴などの政策な証があれば、併せて記載)												14 15	
			是永入力	是状人力	(【非験当】を選択した場合はこちらに適由記載)	<u>""</u>	-4/A	MI	ġ.	Ÿ	i S	í &	Karr E	ATT	∞	0	<u>.</u>	¥
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			廃ビニールなどを燃やさずにしっかりと分別しています。また剪定後 の枝などは燃やさずにウッドチッパーなどで裁断しております。					6.6							15	i
6	【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			梱包資材など自然由来のものを利用し、処分時に有毒物質 等の出ないものを選ぶようにしています。										12.5	1	4.1	
7	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			自社の水源を含む水利用状況を把握し、毎年河川の泥あげ や草刈りなどを実施しております。					6.4 6.6								
8 環境	【環境マネジメントシステム】 ・ IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	【予定】ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得を目指します。		3.9			6	7				12	13.3	14 15	j
9	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	【予定】HP等での掲載を予定しております。										12.6			
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			一部照明等、太陽光パネルを利用して稼働させております。 【予定】ハウス施設等の自動巻き上げ機等も太陽光での稼働 を目指しております。					7	.2					13		
21	[天然資源の持続的利用] - 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			非合法材を使用していないことの確認を行っています。										12.2	13	14 15	i
12	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄を禁止する方針を採用時に伝え、周知徹底して います。													1
!3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為に関与しないよう採用時に伝え、周知徹底しています。													
.4	【知的財産保護】 - 知的財産の保護に取り組んでいる	基本		【予定】	商標の登録により、他者による模倣や悪質な利用から守ります。また製品やブランドを識別しやすくすることもできます。						8. 8.							
公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報は保管場所を決めています。また不要となった資料はシュレッダーにかける等、情報管理ルールを周知徹底して います。													1
業慣行	【紛争鉱物】	チャレンジ		【予定】	自社製品の原材料サプライチェーンを把握していきます。													
27	【サブライチェーン管理】 ・サブライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響 の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有 し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認 活動を行っています。				5		8	3	10		12	13	14 15	, 1
18	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成を検討しております。		3				8	3 9	10					

								主力	₽ SDGs	(17=	ヹール	169ع	ターケ	デット	·)関:	連項目		
	チェック項目	取組	【非験当】 の場合 選択入力	【予定】の	具体的な取組	1 2	3	4	5	6 7	7 8	9	10	11	12	13	14 15	16 17
	7 = 77 % []	レベル	選択人力	場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得限証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	115/ 2.5m	-4/4	armen (g .		1 200	8 EE TO-	Karam E	J.	00 8=E	0	· ·	≭
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			化学肥料を一切使用しないなどで製品の安全性の向上に取 り組んでおります。		3.9								12.4			
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組み を構築しています。							9						
31		チャレンジ			除草剤を使わない、化学肥料を使わない等の環境に配慮した製品の開発に取り組んでいます。					6					12	13	14 15	
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	【予定】今後検討していきたいです。	1 2	3	4	5	6 7	7 8	9	10	11	12	13	14 15	16 17
33	[地域への配虚] ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域の勉強会などへ参加、青年クラブ等へ加入などを行い対 話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い適切に対応 しています。			4				9		11	12		14 15	17
地 域 了 前	は 貴 【社会貢献活動】 講・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる ・	チャレンジ			地域の清掃活動等へ積極的に取り組んでいます。			4						11			14 15	17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			従業員の福利厚生の一環として地域の食材や商品を昼食等で提供しています。						8	9		11	12	13		
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に 説明し、共有しています。						8	9						17
37	[法令遵守] ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			コンプライアンスの重要性を適宜説明し、周知徹底しています。													16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備してい る	基本			責任者を配置して体制を整備しています。													16
39 #		基本			ステークホルダーとの対話により、自社製品やサービスに関しての意見などを聞き、影響を把握、適切に対応しています。													16 17
40		チャレンジ			リスク等について事前に話し合い、対策を講じています。													16
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	【予定】CSR方針の策定など検討していきたいです。													16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			ハザードマップの確認や対応方法などについて適宜話し合い の場を設けています。							9		11		13 13.1		16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者がいます。						8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 1	11 1:	2 13	14	15	16 17

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取 り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福 祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量 認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**愚字**・間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<mark>豪字</mark>で番号を記載 ② 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載 ※1・・結構の社会的責任に関する国際規格 ※2・・・労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定